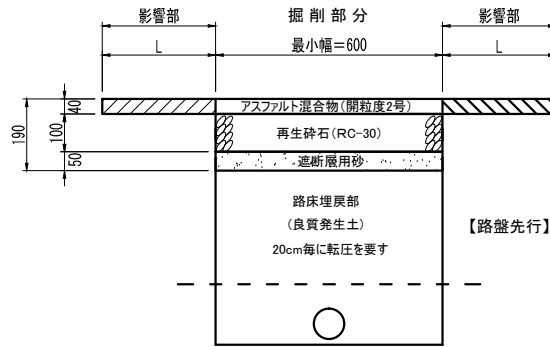


舗装本復旧構造図⑧ (歩道系舗装)

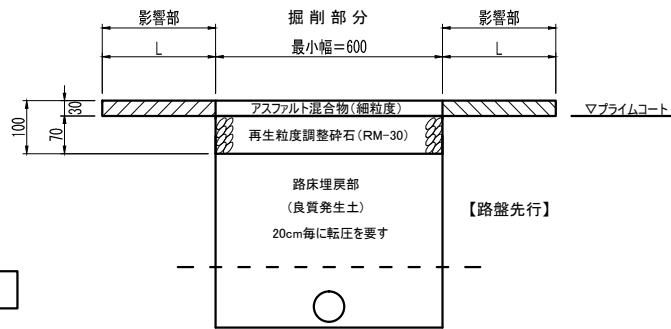
標準構造図 歩道19型

(透水性舗装)

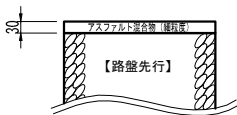


標準構造図 歩道10型

(非透水性舗装)

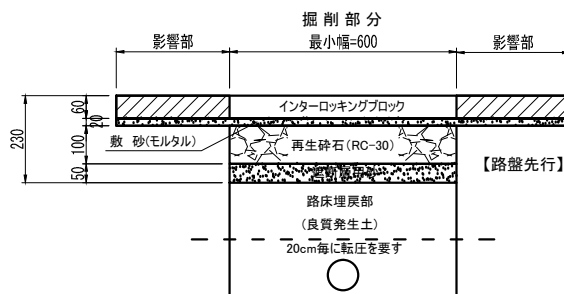


仮復旧 3型 (路盤先行) 歩道系舗装

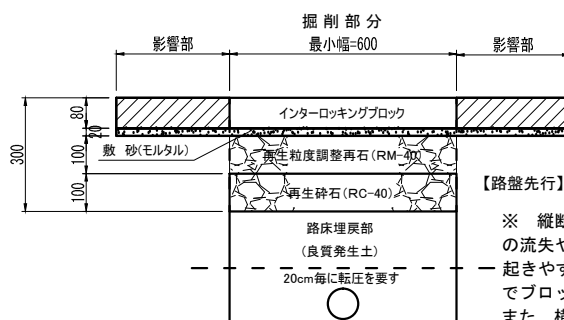


標準構造図 (インターロッキング)

(1) 区分 I (透水性一般部)



(2) (市道1216号線・市道2143号線)



※ 縦断勾配の急な箇所では、浸透水による目地砂の流失や車両のせん断によるブロックの移動などが起きやすいので、空練りモルタル(1:3程度)でブロックを敷設する。
また、横断勾配及び排水方法などに配慮する。

※ 舗装の本復旧は、仮舗装が終わった時点で道路管理者に復旧査定依頼(立会、マーキング)をし、指示を受けること。
※ 影響部のLは道路管理者の指示による。